月刊東乳商

第626号

東京都牛乳商業組合　平成31年３月20日
●URL http://www.tokyo-gyunyuya.com　E-mail tonyusho@forest.ocn.ne.jp
毎月20日発行・定価1部150円　1年1800円（郵便料共）（昭和47年2月22日第3種郵便物認可）

発行所
東京都牛乳商業組合
代表者 西藪　正男
東京都千代田区岩本町２-10-１
SHIMADAビル７階 〒101-0032
電　話 03－5809－1776
ＦＡＸ 03－5809－1786

タブレット地図ソフト
市乳くんNAVI
ホームページで動画公開中！是非、ご覧下さい。
お問い合わせ・資料請求は　0120-5959-92
株式会社オシカワシステム　http://www.oskw.jp

3月度東乳商常務理事会報告
来年度事業計画について論議

３月12日に開催した東乳商常務理事会では、平成31年度の事業計画について活発な論議を行った。

まず初めに乳業界全般報告を行った。このなかで2月19日に行われた都改協理事会の審議内容について事務局から説明があり、2月2日の事務所移転に伴う費用の一部を都改協が負担することが了承されたこと、その他今期の決算見通し等について報告があった。また3月6日に行われた東京都牛乳普及協会理事会において今年度の事業経過報告、今後の会議日程、来年度の事業計画について、東乳商とのコラボ事業である東京都農業祭への参加、宅配牛乳ご愛飲謝恩キャンペーンについて等を予算化し、継続して事業を進める方針との説明があった、と西藪理事長から報告があった。

続いて東乳商の来年度以降の運営の論議に入った。まず販売店の減少に伴い組織形態の見直しを提案、具体的には従来の7ブロックを5ブロックに集約、支部も若干の統廃合を行うという内容で、原案は承認された（支部の統廃合は総代会で審議）。さらに平成31年度の事業計画について議論を行った。研修会のテーマ設定は組合員の関心がどこにあるかをヒアリング等により把握することに努め、検討、決定することとし、また、例年都普協と協働で行っている、「宅配牛乳ご愛飲謝恩キャンペーン」を来年度も継続実施する、さらに昨年初めて参加した「東京都農業祭」に、来年度も参加、都普協、都酪農と合同でブースを出展し、骨ウェーブ測定、牛乳の試飲を実施することを確認した。

来年度の事業計画の機関決定は５月の総代会で行われるが、上程する計画の骨子を今回の常務理事会の論議を反映させて４月中旬までに固める予定。その他に今年度の収支見通し（黒字の見込み）、販売店廃業状況についての報告があった。３月末で確定した決算数字、事業計画等については決算理事会、総代会で報告、承認を得て、月刊東乳商６月号に掲載する予定。

東乳商インフォメーション

◆ボランティア保険について

警視庁は、防犯活動に従事する防犯協会員や防犯ボランティア団体員が、安心して活動できる環境を整備するため、ボランティア保険の助成を行っています。先般、目黒区の碑文谷警察署から、東乳商目黒支部の組合員も対象になるので、名簿の提出を依頼されました。目黒支部長とも相談し、組合員に確認の上、名簿を提出、４月１日から来年の３月31日までの１年間、無償加入することとなりました。各支部管轄の警察署から問い合わせがあれば対応する予定。

◆へエコドライブの推進〉を心がけよう

一般社団法人東京都トラック協会の担当者が先日東乳商事務所を訪れました。目的は「エコドライブの推進」の協力依頼。同協会は東京都環境局の委託を受けて、自動車CO_2削減と次世代自動車等の普及という目標達成のため、都内の貨物運送業者に働きかけを行っています。東乳商は貨物運送業者ではないが、燃費向上に取り組むこと、交通事故削減（急発進、急停車を無くす、安全運転励行）を目指すことにより、広い意味でのエコドライブの推進につながるので協力を依頼されました。組合員のみなさまのご理解、ご協力をお願いします。

◆中央・城東ブロック合同新年会報告

２月16日（土）17時から、錦糸町東武ホテルにおいて、中央・城東ブロック合同の新年会が開催されました。当日は両ブロックから10名の組合員が参加、お互いに情報交換を交えながら、和やかな雰囲気の中、交流を深めました。

各ブロック、支部単位での会合があれば事務局にご連絡下さい。紙面への紹介、補助金の支給等を行います。

2019年度は役員改選期です

東乳商の役員、総代の任期は２年間です。第59回総代会（２０１９年５月28日予定）において新役員が選出されると、先に支部で選出された総代とともに、２０１９、２０年度の２年間務めていただくこととなります。

定数は理事40人以上50人以内、総代は47人と定款に定めており、各支部ごとにそれぞれ１～３人を選出しています。各支部理事のうち１名は支部長を務めていただきます。理事（支部長）、総代の主な役割は次の通りです。

理事①決算理事会、総代会（２０２０年５月、２０２１年５月）、新春の集い（２０２０年１月、２０２１年１月）出席

②支部会の開催（支部会補助１万円を支給します。年１回）

③支部内慶弔を東乳商事務局へ連絡

※いくつかの市、区については公営保育園への牛乳納入の取りまとめを担当していただいています。

総代①総代会（２０２０年５月、２０２１年５月）出席

２０１９年５月の決算理事会、総代会は２０１７、２０１８年度の理事、総代の方に出席頂きます。

理事、総代に選出された方は年１～２回の会議ですので是非出席お願い致します。

東乳商　決算理事会及び総代会のお知らせ（予告）

30年度の決算及び31年度の事業計画に係わる決算理事会、通常総代会の日程が下記のとおり決定しました。該当者の方は出席をお願いします。

１．理事支部長会（決算理事会）
日　時＝５月14日（火）午後４時
会　場＝ワーカーズ倶楽部
　　秋葉原会議室
（招集通知書に地図を同封します）
出席者＝理事及び支部長
審議事項
　総代会提出議案書の審議
（招集通知書は４月下旬発送予定）

２．第59回通常総代会
日　時＝５月28日（火）
　　午後４時30分
会　場＝弘済会館（麹町）
出席者＝総代、理事、支部長
（招集通知書は５月上旬発送予定）

改善協版

第31回「牛乳販売店優良事例発表会」報告①

平成31年２月１日（金）アルカディア市ヶ谷で行われた全改協主催の牛乳販売店優良事例発表会で第１位である農林水産大臣賞を受賞した山形県の株式会社すまいるステーションの発表内容を紹介する。

「お客様と従業員への啓発により共に成長」
株式会社すまいるステーション
発表者＝佐藤　亮

１．販売店の歴史及び代表者（発表者）の経歴

平成23年３月11日（東日本大震災）、親戚が経営する牛乳販売店を辞め、山形県飽海郡遊佐町に販売店を開業。佐藤氏一人、ゼロからのスタート。

平成25年12月、開業から２年８ヵ月で宅配軒数千軒を突破。経営基盤安定化のため法人化、「株式会社すまいるステーション」を設立。

平成27年、宅配軒数が千五百軒を突破し、鶴岡市までエリア拡大。経営理念、行動指針を策定。

平成29年６月、天童市の販売店から顧客を引き継ぎ、天童支店を開設。

２．店舗概要と立地環境

・コースは週２回配達早朝が３、午前が18で計21コース。車両は11台で営業している。従業員は16人。

・本店は山形と秋田の県境の遊佐町。商圏は２市（酒田市、鶴岡市）３町（遊佐町、庄内町、三川町）で、商圏内の人口は２８４，８４５人、世帯数は９８，３９９世帯。競合は同マークが２店、他マークが10店。

・天童支店は天童市、東根市、村山市をカバー。天童市と東根市は仙台から１時間の好立地であるうえ、教育や子育て支援に力をいれていることから、数少ない人口増加地域。そのため競争環境も激化しており、商圏内には同マーク１店、他マーク１０店以上がひしめき合っている。人口は１７５，９０８人、世帯数は５８，３０９世帯である。

３．経営方針

＜経営理念＞

人は自らの思考力や行動力によって人生を変えることができる

私達は笑顔の力で皆様の健康と幸せを創造し、共に成長する企業を目指します

＜行動指針＞

1.自助　自己を助けるのは自己なり　自己こそ最上の助け主なり　独立自立の精神なり

1.協力　真の協力関係とは自立した人間同士の協力関係である

1.情熱　何事にも興味を持ち常に情熱をもって物事に向かう

1.責任　社会人として責任を果たし立派な行動をする

1.笑顔　どんなときも忘れずに苦しい時こそ満面の笑顔で

活動内容については４月号に掲載

都改協理事会報告

都改協は「乳販政治連盟」の１団体として、東乳商、日本乳販政治連盟とともに千代田区岩本町２-10-１ＳＨＩＭＡＤＡビル７階に２月２日移転しました。

２月19日に新事務所で都改協理事会を開催したので以下報告します。

＜東京都牛乳流通改善協会理事会＞

日　時＝２０１９年２月19日（火）16時から17時

場　所＝都改協事務所

出席者＝宮島会長、大野副会長、久保副会長、西藪副会長、小林理事、新井理事、林理事、長倉理事、事務局

議題

①事務所移転関連

事務所移転費用（総額約２百万円）の一部10万円を都改協が負担

②平成30年度収支見通し

若干の黒字となる見通し

③平成31年度予算について

販売店の廃業による賦課金収入の減少、全改協への賦課金の増額があるが、事務所費、東乳商への業務委託費の軽減（両方で36万円／年）により、黒字予算が組める見通し。

④平成31年度会議日程

決算理事会＝４月26日（金）16時から都改協事務所

総会＝６月４日（火）16時から　ホテルジュラク

⑤今後の組織運営等

平成31年度の全改協事業計画およびその実施状況をみながら、都改協の今後の組織運営について検討し、平成31年度中に結論をだす。

以上

都普協版

全国の20～69歳の男女1,000人に聞いた「牛乳の購入意識に関する調査」その２

昨年９月、北海道で起こった地震の影響で本州への生乳供給が停止し、首都圏の店頭で牛乳が品薄になりました。これまで日本では国産100％で、いつでも簡単に手に入るイメージがあった牛乳ですが、今回の事態を経て消費者の意識はどのようになっているのか。インターネットリサーチによる調査結果がありましたので、今回は牛乳や日本の食に対する意識についてご紹介します。

総合マーケティング支援を行う株式会社ネオマーケティングが実施した調査

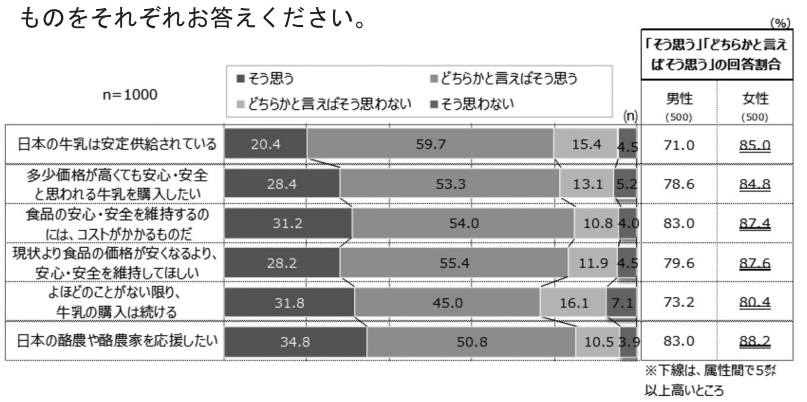
調査方法＝株式会社ネオマーケティングが運営するアンケートサイト「アイリサーチ」のシステムを利用したＷＥＢアンケート方式

調査対象＝アイリサーチ登録モニターのうち、全国の20歳～69歳の男女

サンプル数＝１０００サンプル（性別×各年代　100Ｓ）

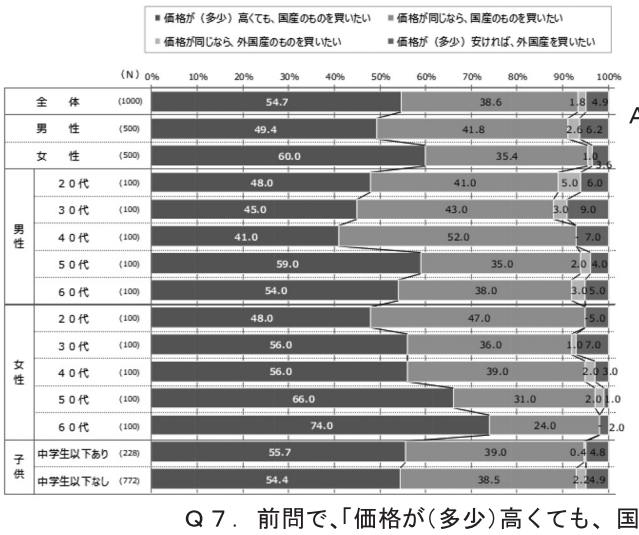
調査期間＝２０１８年10月26日（金）～29日（月）の４日間

Ｑ５．以下の日本の食や牛乳の供給に関して、あなたの考えにあてはまるものをそれぞれお答えください。



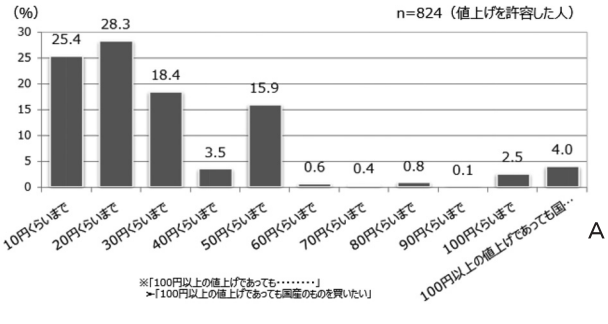
Ａ５．日本の食や牛乳の供給に関しての考えについて全員に聞いたところ、「日本の酪農や酪農家を応援したい」が最も高くなっています。また「多少価格が高くても安心・安全と思われる牛乳を購入したい」「食品の安心・安全を維持するのには、コストがかかるものだ」「現状より食品の価格が安くなるより、安心・安全を維持してほしい」を肯定する割合が高く、**食品や牛乳の安心・安全のためには多少購入価格が高くても購入したいという意識があることがわかります。**

Ｑ６．あなたは、牛乳について、国産と外国産どちらを買いたいとお考えですか。（※「牛乳」は国産100％ですが仮に店頭で外国産の牛乳が売られている場合を想定してお答えください。）



Ａ６．「価格が（多少）高くても、国産のものを買いたい」が54.7％、「価格が同じなら、国産のものを買いたい」が38.6％となっています。**国産の牛乳について優先的に購入したいと考えている人が93.3％いることがわかりました。**

Ｑ７．前問で、「価格が（多少）高くても、国産のものを買いたい」または「価格が同じなら、国産のものを買いたい」とお答えの方にお聞きします。国産の牛乳を買うために、あなたは、牛乳（種類別「牛乳」・紙パック・１リットル）の値上げは、いくらくらいまでなら許容できますか。

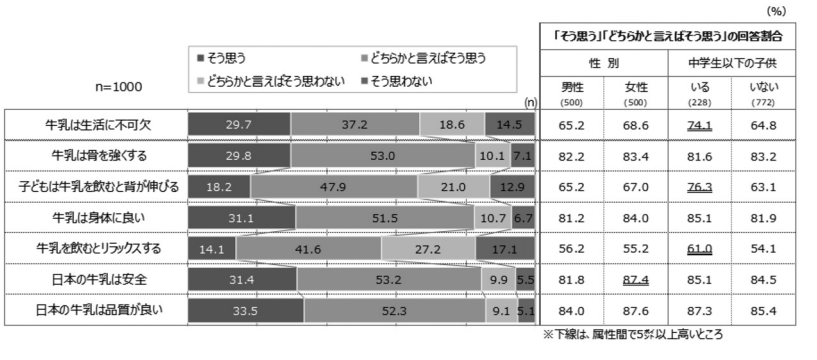


Ａ７．値上げを許容した人のうち、**「20円くらいまで」が約28％と最も多く、**「10円くらいまで」が約25％、「30円くらいまで」が約18％と続きました。また、「50円くらいまで」との回答も約16％ありました。

【参考】

総務省の平成29年の家計調査によると、牛乳１リットル当たりの平均購入価格は約１９６円（平成29年の月毎の平均で算出）

Ｑ４．以下の牛乳に関する項目について、あなたの考えにあてはまるものをそれぞれお答えください。



Ａ４．「日本の牛乳は品質が良い」「日本の牛乳は安全」の項目が肯定されているのに加え、「牛乳は骨を強くする」「牛乳は身体に良い」などの健康に関する項目も肯定されています。**日本の牛乳は安全で品質が良く、牛乳は健康に良いと考えている人がかなりの割合を占めています。**

中学生以下の子供のいる世帯では、「牛乳は生活に不可欠」「子どもは牛乳を飲むと背が伸びる」「牛乳を飲むとリラックスする」が中学生以下の子供のいない世帯に比べ肯定割合が高くなっています。